

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成24年2月3日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	AXYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々倉 豊
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第2四半期連結 累計期間	第50期 第2四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 7月1日 至平成23年 12月31日	自平成22年 7月1日 至平成23年 6月30日
売上高(千円)	7,704,329	8,009,660	14,595,858
経常利益(千円)	447,210	466,682	720,538
四半期(当期)純利益(千円)	285,760	287,435	423,550
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	286,785	288,164	436,004
純資産額(千円)	5,654,897	6,022,081	5,804,117
総資産額(千円)	8,614,629	8,933,889	8,382,935
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	50.88	51.18	75.42
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	65.6	67.4	69.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	568,466	511,788	676,397
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	296,151	137,195	67,972
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	125,677	120,657	176,205
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	677,936	1,627,790	1,099,464

回次	第49期 第2四半期連結 会計期間	第50期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	42.86	23.81

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第49期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに生じたリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞を脱し、回復がみられるようになりました。しかしながら、欧州経済の金融不安や米国経済の景気回復懸念等に伴う円高の進行や株価低迷の長期化等、金融情勢は不安定さが増し今後の景気先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況下で、当社グループは、主力である鶏肉関連事業において、燃料価格の高騰によるコストアップ要因があったものの、高品質の鶏肉を安定的かつ継続的に供給するために、更なるプロイラー生産体制の効率化を追求してまいりました。今後も当社独自の鶏舎環境制御方法等による生産管理技術を高め、更なる事業運営基盤の強化を目指し業績向上に努めてまいります。

以上の結果、売上高は80億9百万円（前年同四半期比4.0%増）と増収となり、営業利益4億15百万円（同7.8%増）、経常利益4億66百万円（同4.4%増）となり、四半期純利益は2億87百万円（同0.6%増）となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 鶏肉関連

当社グループの柱である当該事業は、管理体制の細部に注力したことにより、プロイラー飼育の生産性が向上いたしました。その結果、鶏肉の製造量が増加し、当社製品「薩摩ハーブ悠然どり」の拡販につながったことを主因に、売上高は62億74百万円（前年同四半期比4.4%増）と増収となり、セグメント利益は2億56百万円（同15.5%増）と増益になりました。

#### 外食

KFC店舗のキャンペーンが好調であったことに加え、積極的なポスティングが奏功しPH店舗の売上も堅調に推移しました。さらに、第1四半期連結累計期間で新規出店した店舗（ケンタッキーフライドチキン1店舗）も店舗収益に寄与いたしました。

以上の結果、売上高は17億35百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益は1億57百万円（同2.6%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ5億50百万円増加し、89億33百万円となりました。これは主に現金及び預金が4億78百万円、受取手形及び売掛金が3億34百万円増加したものの、投資その他の資産が1億31百万円、有形固定資産が92百万円減少したこと等によるものであります。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ3億32百万円増加し、29億11百万円となりました。これは主に未払金が2億26百万円、買掛金が1億30百万円増加したこと等によるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億17百万円増加し、60億22百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億17百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、16億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億28百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、5億11百万円の資金増加（前年同四半期は5億68百万円の資金増加）となりました。これは売上債権の増加3億34百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益を4億65百万円、減価償却費を1億33百万円それぞれ計上し、またその他の流動負債が2億91百万円増加したこと等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、1億37百万円の資金増加（前年同四半期は2億96百万円の資金減少）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入が1億52百万円あったこと等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、1億20百万円の資金減少（前年同四半期は1億25百万円の資金減少）となりました。これは、長期借入金の約定返済による支出が50百万円と配当金の支払額が70百万円あったことによるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、49百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月3日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	5,617,500	-	452,370	-	428,340

( 6 ) 【大株主の状況】

平成23年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
伊地知 恭正	東京都文京区	938	16.69
有限会社照国興産	鹿児島県鹿児島市照国町	600	10.68
伊地知 昭正	鹿児島県鹿児島市	531	9.45
伊地知 高正	鹿児島県鹿児島市	502	8.95
伊地知 芳正	千葉県船橋市	502	8.95
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町一丁目	210	3.73
株式会社鹿児島銀行	鹿児島県鹿児島市金生町	190	3.38
村尾 万紀子	大阪府豊中市	185	3.29
伊地知 洋正	東京都文京区	185	3.29
伊地知 剛正	東京都文京区	185	3.29
計	-	4,029	71.73

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,615,800	56,158	-
単元未満株式	普通株式 300	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,158	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アクシーズ	鹿児島市草牟田二丁目1番8号	1,400	-	1,400	0.02
計	-	1,400	-	1,400	0.02



## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,199,464	1,677,790
受取手形及び売掛金	1,050,333	1,385,128
製品	162,788	184,245
仕掛品	234,128	195,827
原材料及び貯蔵品	557,545	571,809
その他	310,008	282,522
貸倒引当金	431	950
流動資産合計	3,513,837	4,296,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	396,747	365,120
工具、器具及び備品(純額)	506,069	448,477
土地	2,763,632	2,764,632
その他(純額)	49,529	45,092
有形固定資産合計	3,715,979	3,623,321
無形固定資産	54,155	46,434
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,104,034	971,625
貸倒引当金	5,070	3,867
投資その他の資産合計	1,098,964	967,758
固定資産合計	4,869,098	4,637,515
資産合計	8,382,935	8,933,889
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	364,810	494,897
1年内返済予定の長期借入金	91,000	64,750
未払金	869,119	1,095,157
未払法人税等	165,868	170,379
その他	78,071	143,890
流動負債合計	1,568,869	1,969,074
固定負債		
社債	499,800	499,800
長期借入金	24,250	-
退職給付引当金	187,640	184,542
役員退職慰労引当金	96,349	101,831
その他	201,908	156,559
固定負債合計	1,009,949	942,733
負債合計	2,578,818	2,911,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	4,885,168	5,102,402
自己株式	1,087	1,087
株主資本合計	5,764,791	5,982,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,325	40,055
その他の包括利益累計額合計	39,325	40,055
純資産合計	5,804,117	6,022,081
負債純資産合計	8,382,935	8,933,889

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,704,329	8,009,660
売上原価	5,220,210	5,487,636
売上総利益	2,484,118	2,522,024
販売費及び一般管理費	2,098,666	2,106,530
営業利益	385,451	415,493
営業外収益		
受取利息	3,096	1,528
受取配当金	1,966	1,212
持分法による投資利益	51,115	45,828
その他	13,934	19,640
営業外収益合計	70,113	68,208
営業外費用		
支払利息	5,289	4,433
為替差損	2,497	10,681
その他	568	1,903
営業外費用合計	8,354	17,019
経常利益	447,210	466,682
特別利益		
固定資産売却益	9,193	-
収用補償金	92,108	-
特別利益合計	101,302	-
特別損失		
固定資産除却損	297	686
固定資産圧縮損	85,936	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,346	-
特別損失合計	107,580	686
税金等調整前四半期純利益	440,932	465,996
法人税、住民税及び事業税	151,053	168,151
法人税等調整額	4,118	10,409
法人税等合計	155,172	178,561
少数株主損益調整前四半期純利益	285,760	287,435
四半期純利益	285,760	287,435

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	285,760	287,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,019	729
繰延ヘッジ損益	5,044	-
その他の包括利益合計	1,025	729
四半期包括利益	286,785	288,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286,785	288,164

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	440,932	465,996
減価償却費	177,064	133,973
退職給付引当金の増減額(は減少)	37,598	3,098
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,727	5,481
受取利息及び受取配当金	5,062	2,740
支払利息	5,289	4,433
持分法による投資損益(は益)	51,115	45,828
固定資産圧縮損	85,936	-
収用補償金	92,108	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,346	-
売上債権の増減額(は増加)	237,523	334,795
たな卸資産の増減額(は増加)	128,659	2,580
その他の流動資産の増減額(は増加)	72,851	15,434
仕入債務の増減額(は減少)	81,407	130,086
その他の流動負債の増減額(は減少)	207,941	291,502
その他	17,356	17,051
小計	629,233	645,975
利息及び配当金の受取額	5,062	2,740
利息の支払額	5,267	4,390
その他の収入	11,441	19,640
その他の支出	568	1,154
法人税等の還付額	-	7,610
法人税等の支払額	71,436	158,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	568,466	511,788
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	170,000	50,000
定期預金の払戻による収入	220,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	93,709	39,338
無形固定資産の取得による支出	3,356	2,994
貸付けによる支出	332,876	21,500
貸付金の回収による収入	78,500	152,200
敷金及び保証金の差入による支出	2,718	1,714
その他	8,007	542
投資活動によるキャッシュ・フロー	296,151	137,195
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	55,500	50,500
自己株式の取得による支出	52	-
配当金の支払額	70,124	70,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,677	120,657
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	146,637	528,326
現金及び現金同等物の期首残高	531,299	1,099,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	677,936	1,627,790

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
受取手形	- 千円	2,754千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
販売手数料	81,615千円	92,014千円
荷造運搬費	434,745	445,327
役員報酬	65,420	67,627
従業員給与と手当	332,458	326,973
雑給	341,439	357,102
役員退職慰労引当金繰入額	5,356	5,481
退職給付費用	10,039	5,943
減価償却費	63,039	43,113
賃借料	215,505	221,472
研究開発費	49,871	49,931

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
現金及び預金勘定	1,153,936千円	1,677,790千円
預入期間が3か月を超える定期預金	476,000	50,000
現金及び現金同等物	677,936	1,627,790



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,201	12.50	平成22年6月30日	平成22年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,010,781	1,693,547	7,704,329	-	7,704,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	294	-	294	294	-
計	6,011,075	1,693,547	7,704,623	294	7,704,329
セグメント利益	221,976	161,713	383,690	1,761	385,451

- (注) 1. セグメント利益の調整額1,761千円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,274,135	1,735,525	8,009,660	-	8,009,660
セグメント間の内部売上高又は振替高	147	-	147	147	-
計	6,274,282	1,735,525	8,009,807	147	8,009,660
セグメント利益	256,332	157,566	413,899	1,594	415,493

- (注) 1. セグメント利益の調整額1,594千円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	50円88銭	51円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	285,760	287,435
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	285,760	287,435
普通株式の期中平均株式数(株)	5,616,060	5,616,060

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月1日

株式会社アクシーズ  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。